

クオンタムジャンプ(大跳躍)と途上国開発

アジアやアフリカの農村に携帯電話が急速に広がっています。これらの農村は道路状況も劣悪で、電気も水道も通っていないような地。私が赴任していたミャンマーでも、携帯電話の普及率がこの2年間で10%からほぼ100%になる見込みだといえます(しかも、ほとんどがスマートフォン!)。電気が来るより携帯電話が来る方が早いということには驚きです。

農家が携帯電話を持つとどうなるでしょうか。これまで卸売人に買いたたかれていた農作物が市場ではいくらかで売られているか、肥料や農機を最も安く手に入れるルートはどこかなどの情報が、農家の手元にも届くようになります。このことは、農家の所得向上のみならず農村社会の在り方を劇的に変えます。例えば、医療や教育情報にアクセスできれば、乳幼児死亡率が減少し、識字率が向上するかもしれない。ひよっとすると、これまで私たちが取り組んできたどの開発援助の手法より、携帯電話の普及の方が貧困削減効果は高いかもしれません。

このように、技術革新によって従来の発展過程を大きく飛び越えて進歩することを、クオンタムジャンプ(quantum jump)と呼ぶそうです。開発途上国の問題解決に、大跳躍が期待できるならば素晴らしいことです。しかし、技術革新には、光だけでなく、陰もあります。ICTの発達は所得格差の増大をもたらし、過激思想の広がりを助長する面もあります。特に開発が遅れている地域では、技術革新に伴う変化が劇的なだけに、マイナスにも大きく作用することがあるのです。

今回の特集では、光の面に焦点を当てましたが、陰の影響に対する配慮も私たちの重要な仕事です。そこには、大跳躍ではなく、人々に寄り添う地道な取り組みが求められます。

JICA 広報室長 田中雅彦

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2017年2月15日

Eメール：jica@idj.co.jp
FAX：03-3221-5584(『mundi』編集部宛)

- ① パラグアイの刺しゅう
- ② 書籍『愛と信念の言葉』(p37参照)
- ③ 書籍『キューバ音楽を歩く旅』(p37参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送を手配いたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F
TEL 03-3221-5583
FAX 03-3221-5584
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2017年2月1日発行予定)

栄養改善

世界の多くの子どもたちが、体の成長や脳の発達を妨げる発育阻害に悩まされています。その原因と考えられているのが、胎児期から2歳の誕生日までの“1000日”における栄養不足。次号は、国際的な課題として注目が高まっている栄養改善の取り組みを紹介します。